

河内王をおほきみ
とよくにのみちのくち
の鏡山に葬る時に、
手持女王のおほきみ
つくる歌三首

四一七番

大君のおほきみ
にきたま
和魂あへや
豊国とよくに
の鏡かがみ
の山やま
をみや
宮と
定むる
さだ

四一八番

豊国とよくに
の鏡かがみ
の山やま
の岩いはと
立た
て隠りかく
にけらし
待てまだ
来まさず
き

四一九番

岩戸いわと
割るわ
手力たちから
もがも
手弱たよわ
き
女をみな
にしあれば
すべの知らなく
し